



INNO
VATION 30

2026年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社ミマキエンジニアリング（証券コード：6638）東証プライム市場

2025年11月19日

2026年3月期 連結業績

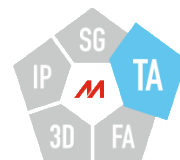
1. 第2四半期・上期実績

2. 通期予想

3. 事業の取り組み状況

4. APPENDIX

NEW



TS200-1600

「TS200-1600」は、初めて昇華転写プリンタを扱う方でも簡単に高品質なプリントが可能なテキスタイル・アパレル向け昇華転写インクジェットプリンタです。当社フラグシッププリンタに搭載される「330エンジン」の高密度・高精細プリントヘッドをシングルで搭載しており、均一で美しい高濃度カラーや精細なデザインを表現できます。

連結業績ハイライト① (2026年3月期 2Q実績)

売上高

19,966百万円

前年同期比 △5.5%

営業利益

2,055百万円

前年同期比 △22.3%

営業利益率 10.3%

経常利益

1,928百万円

前年同期比 △18.6%

経常利益率 9.7%

四半期純利益*

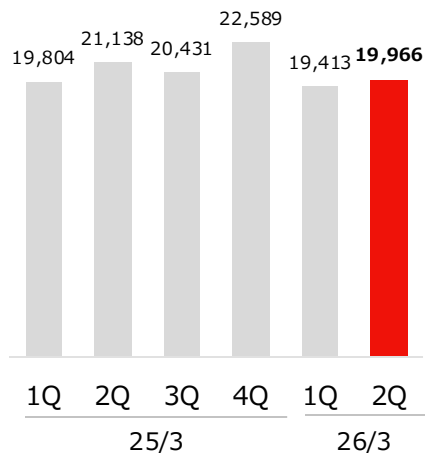
1,432百万円

前年同期比 △19.0%

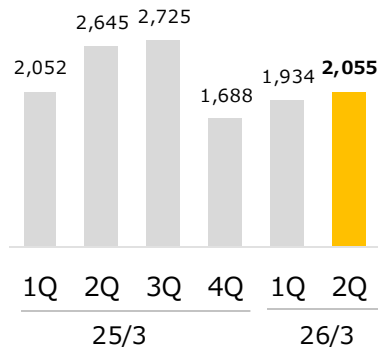
四半期純利益率 7.2%

*親会社株主に帰属する四半期純利益

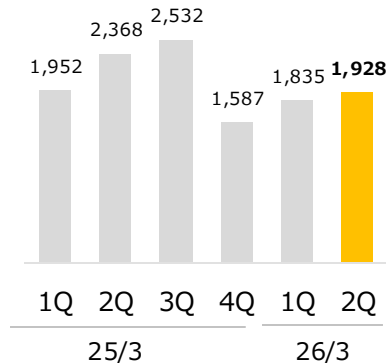
売上高



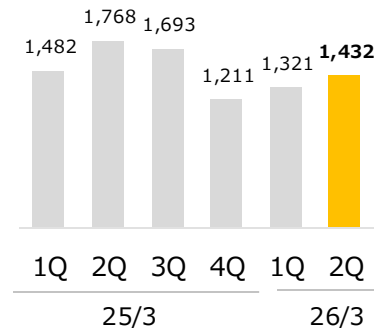
営業利益



経常利益



四半期純利益 *



連結業績ハイライト② (2026年3月期 2Q実績)



2025年3月期				2026年3月期(7-9月)				
		2Q実績	売上高 比率	2Q実績	売上高 比率	前年同期比増減		
(単位：百万円)						金額	率	率(除為替)
売上高		21,138	—	19,966	—	-1,172	-5.5%	-5.9%
営業利益		2,645	12.5%	2,055	10.3%	-589	-22.3%	-24.5%
経常利益		2,368	11.2%	1,928	9.7%	-440	-18.6%	—
四半期純利益*		1,768	8.4%	1,432	7.2%	-336	-19.0%	—
為替レート (期中平均)	米ドル	149.36円	—	147.48円	—	-1.88円	-1.3%	—
	ユーロ	163.98円	—	172.31円	—	+8.33円	+5.1%	—

*親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上高は、前年同期比 1,172百万円の減収（-5.5%、内為替影響 +75百万円）、予想比下振れ。為替影響を除くと5.9%減
製品市場別は、SGはエコソルベントモデルやUV-DTFが堅調に推移。IPは新製品の端境期にあたり主に小型FB（フラットベッド）モデルが減少
TAはDTFモデルの販売が競争激化により減収、FAは大幅な減少
- 営業利益は、売上高の減少に伴い前年同期比 589百万円の減益（-22.3%、内為替影響 +57百万円）も営業利益率は10.3%を確保
売上原価率は、原価低減活動の継続により0.9pt改善。販管費は、研究開発費と人件費が前年同期比で増加するも、その他の費用は売上に応じた
費用執行に努め期初計画比では抑制

*DTF：Direct To Film

連結業績ハイライト③ (2026年3月期 上期実績)



売上高

39,379百万円

前年同期比 △3.8%

営業利益

3,990百万円

前年同期比 △15.1%

営業利益率 10.1%

経常利益

3,764百万円

前年同期比 △12.9%

経常利益率 9.6%

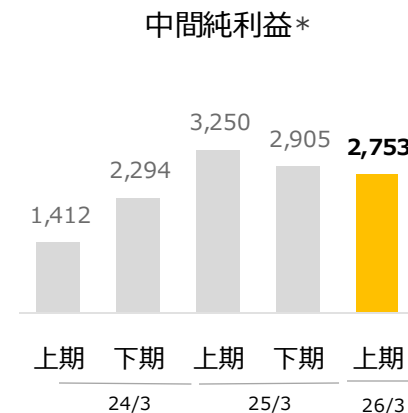
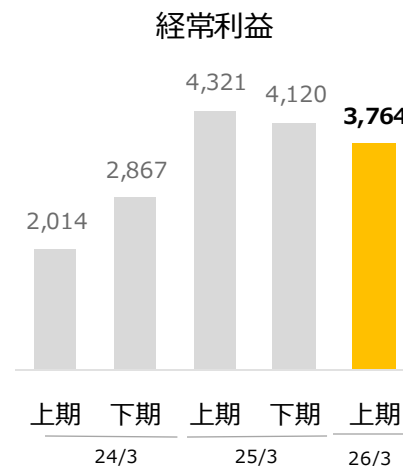
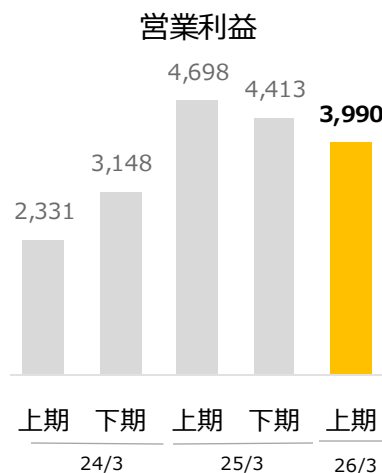
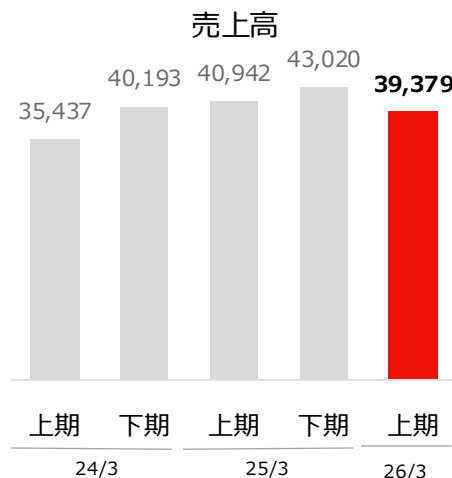
中間純利益*

2,753百万円

前年同期比 △15.3%

中間純利益率 7.0%

*親会社株主に帰属する中間純利益



連結業績ハイライト④ (2026年3月期 上期実績)



2025年3月期			2026年3月期						
(単位：百万円)	上期実績	売上高比率	上期実績	売上高比率	前年同期比増減			前回予想	前回予想比増減額
					金額	率	率(除為替)		
売上高	40,942	—	39,379	—	-1,563	-3.8%	-1.8%	41,400	-2,020
営業利益	4,698	11.5%	3,990	10.1%	-708	-15.1%	-7.3%	4,050	-59
経常利益	4,321	10.6%	3,764	9.6%	-556	-12.9%	—	3,600	+164
中間純利益*	3,250	7.9%	2,753	7.0%	-497	-15.3%	—	2,600	+153
為替レート	米ドル 152.62円	—	146.04円	—	-6.58円	-4.3%	—	135.00円	+11.04円
(期中平均)	ユーロ 165.93円	—	168.06円	—	+2.13円	+1.3%	—	152.00円	+16.06円

*親会社株主に帰属する中間純利益

- 売上高は、前年同期比 1,563百万円の減収（-3.8%、内為替影響 -820百万円）予想比下振れ。為替影響を除くと1.8%の減
製品市場別は、SGの高画質のエコソルベントプリンタが牽引、北米・欧州中心にUV-DTFモデルの引き合い順調もUVインク搭載モデルは低調。
IPはインクが大幅に伸長、本体はミドルサイズFBが牽引も新製品の端境期にある小型FBの販売低調。TAはフラッグシップモデルのハイブリットプ
リントやダイレクト捺染プリンタ堅調も競争激化のDTFモデルが減少。インクの販売は全市場で増収。FAは大幅減収
- 営業利益は、前年同期比 708百万円の減益（-15.1%、内為替影響 -363百万円）も営業利益率は10.1%を確保。原価低減活動の
定着で、売上原価率は2.3pt改善（為替影響を含む）。販管費は、成長投資のための研究開発費・人件費は計画どおりの実行で増加も、
その他費用は売上高に応じた執行に努め、前年同期比では増加するも期初計画比からは抑制
- 2Q末バランスシート・・・重点指標CCC*は、在庫増加が要因となり2025年3月末より高水準
(2025.3末：4.28月 →25.6末：4.96月→25.9末：4.85月)

*CCC : Cash Conversion Cycle

営業利益増減要因 (25/3期 上期 vs 26/3期 上期)

■ 売上・原価・営業利益への為替影響

売上高 -820 - 売上原価 -230 - 販管費 -227 = 営業利益 -363

【通貨別影響額】

USD /	152.62円	→	146.04円	-254
EUR /	165.93円	→	168.06円	+71
CNY /	21.15円	→	20.30円	+40
TRY /	4.64円	→	3.67円	-76
BRL /	28.39円	→	26.30円	-59
その他 (AUD、INR 等)				-83
合計				-363

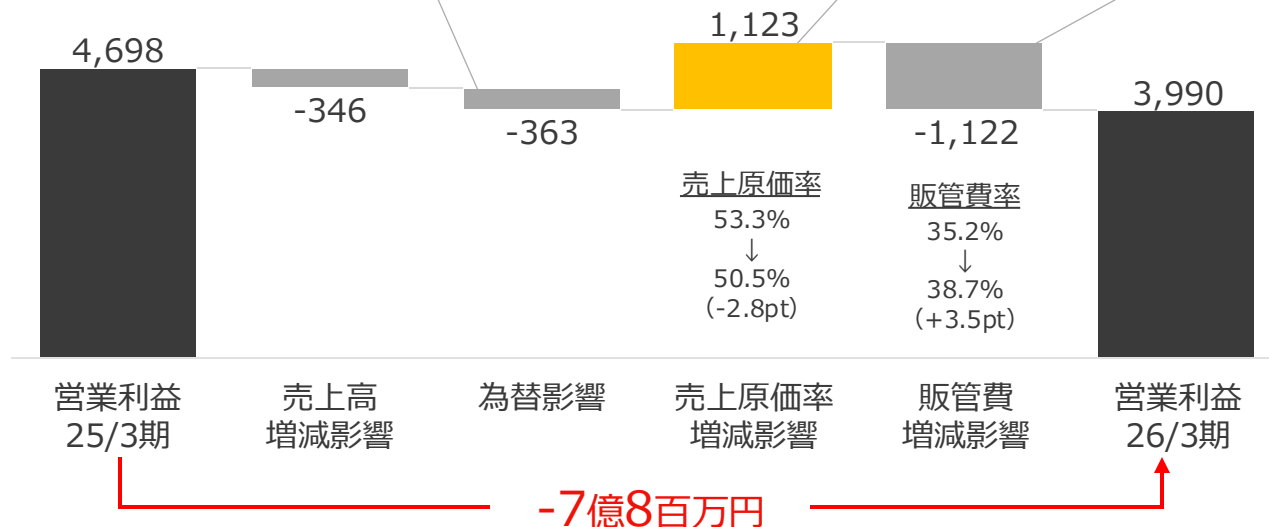
【売上原価率増減要因】

インク・本体機種において
プロダクトミックスの改善が進捗した
こと等、
原価低減活動の定着が奏功し
売上原価率は改善基調を継続

【販管費増減の要因】

研究開発費	+582
人件費	+538
製品補修費	-294
その他	+296
合計	+1,122

(単位：百万円)



市場別売上高（2026年3月期 2Q実績）



		2025年3月期		2026年3月期(7-9月)				
(単位：百万円)		2Q実績	構成比率	2Q実績	前年同期比増減			構成比率
					金額	率	率(除為替)	
■	S G市場向け	8,058	38.1%	8,314	+255	+3.2%	+2.7%	41.6%
■	I P市場向け	5,604	26.5%	4,967	-637	-11.4%	-11.8%	24.9%
■	T A市場向け	2,468	11.7%	2,410	-58	-2.4%	-2.6%	12.1%
■	F A事業	1,551	7.3%	905	-646	-41.7%	-41.6%	4.5%
■	その他	3,454	16.3%	3,369	-85	-2.5%	—	16.9%
	合 計	21,138	100.0%	19,966	-1,172	-5.5%	-5.9%	100.0%

- SG市場向け :インクの販売が大幅に増加。プリンタ本体は、UVインク搭載の既存モデルは伸び悩むも、新製品のエコソルベントモデルが牽引、UV-DTFモデルが順調な立ち上がりにより、全体では増収
- IP市場向け : インク販売は、増加基調が継続し大幅増も、プリンタ本体は新製品の端境期にあたり主に小型FBモデルが大幅減
全体では大幅減収
- TA市場向け :プリンタ本体は、高速昇華転写プリンタのTiger600やハイブリッドモデルが順調な立ち上がりも、DTFモデルが競争激化に伴い大幅減。
インクの販売は、累計稼働台数の増加により飛躍的に伸長。全体では減収
- FA事業 : 基板検査装置が大幅増。半導体製造装置が好調に推移も、FA装置や基板実装装置の減少により大幅減収

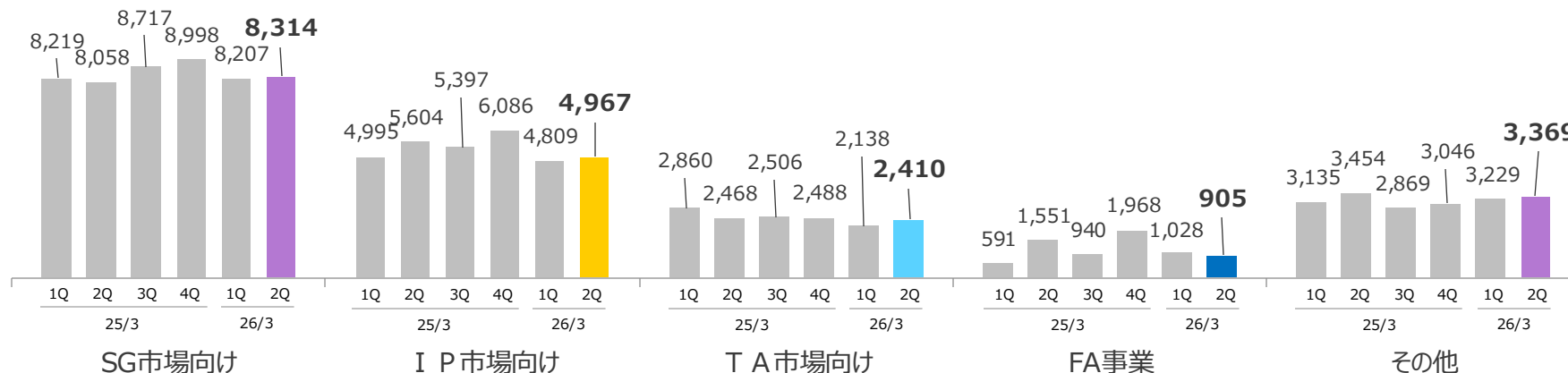
市場別売上高（2026年3月期 上期実績）



2025年3月期

2026年3月期

(単位：百万円)	上期実績	構成比率	上期実績	前年同期比増減			構成比率	前回予想	前回予想比増減額
				金額	率	率(除為替)			
SG市場向け	16,278	39.8%	16,521	+243	+1.5%	+3.9%	42.0%	16,211	+310
I P市場向け	10,600	25.9%	9,777	-823	-7.8%	-6.0%	24.8%	11,458	-1,681
T A市場向け	5,329	13.0%	4,548	-780	-14.7%	-12.5%	11.6%	5,610	-1,062
F A事業	2,143	5.2%	1,933	-210	-9.8%	-9.3%	4.9%	2,007	-73
その他	6,590	16.1%	6,598	+7	+0.1%	-	16.8%	6,112	+486
合 計	40,942	100.0%	39,379	-1,563	-3.8%	-1.8%	100.0%	41,400	-2,020



エリア別売上高（2026年3月期 2Q実績）

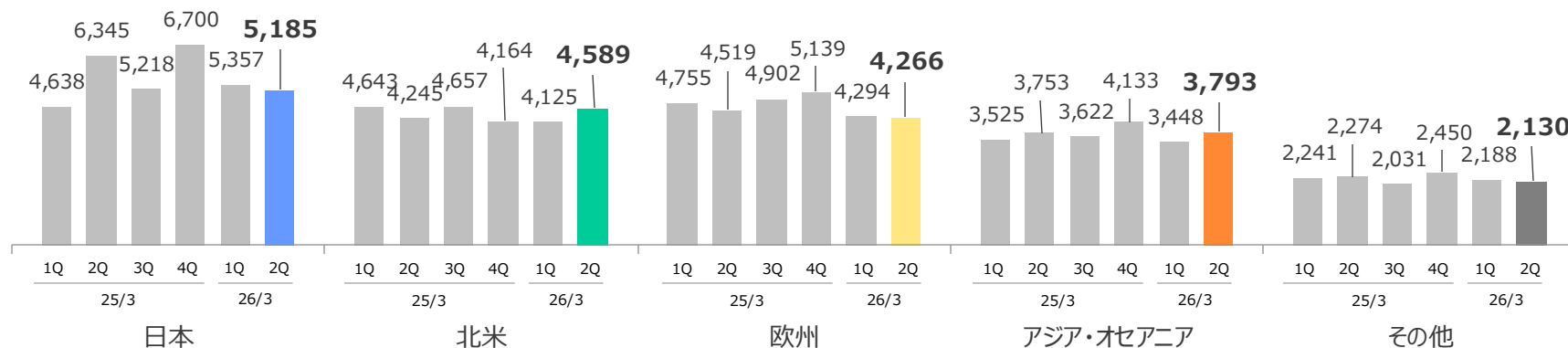


2025年3月期			2026年3月期(7-9月)			
(単位：百万円)	2Q実績	構成 比率	2Q実績	前年同期比増減		構成 比率
				金額	率	
■ 日本	6,345	30.0%	5,185	-1,159	-18.3%	26.0%
■ 北米	4,245	20.1%	4,589	+344	+8.1%	23.0%
(現地通貨/ \$)	28.5M	—	31.1M	+2.5M	+9.1%	—
■ 欧州	4,519	21.4%	4,266	-252	-5.6%	21.4%
(現地通貨/ €)	27.5M	—	24.7M	-2.8M	-10.3%	—
■ アジア・オセアニア	3,753	17.8%	3,793	+39	+1.1%	19.0%
■ その他	2,274	10.8%	2,130	-144	-6.3%	10.7%
合 計	21,138	100.0%	19,966	-1,172	-5.5%	100.0%

- 日本: FA事業のFA・基板実装装置が大幅減となり全体では大幅な減収。FA事業を除くSG・IP・TA合計の前年同期比は-5.4%の減
- 北米: TAはインクの販売が稼働台数増加に伴い飛躍的に伸長。本体も高速昇華転写モデル等の好調により大幅増。SGは新製品のエコソルベントモデルやUV-DTFモデルの新製品順調等により本体販売は大きく伸長しインクも大幅増。IPはインクが大幅に伸長し、大型FB好調により増加。全体では8.1%の増収
- 欧州: SGは新製品の立ち上がりが順調により増収。TAはインク大幅増もDTFモデル減少により微減。IPはインクは好調に推移するも本体が大型・小型ともに大幅減。全体では減収
- A・O: SGは新製品のエコソルベントモデルが牽引し増収。IP・TAは本体・インクともに大幅減。全体では増収

エリア別売上高（2026年3月期 上期実績）

2025年3月期			2026年3月期					
(単位：百万円)			上期実績	前年同期比増減		構成比率	前回予想	前回予想比増減額
	上期実績	構成比率	上期実績	金額	率	構成比率	前回予想	前回予想比増減額
■ 日本	10,983	26.8%	10,542	-440	-4.0%	26.8%	11,524	-981
■ 北米	8,888	21.7%	8,715	-173	-1.9%	22.1%	8,092	+622
(現地通貨/ \$)	58.3M	—	59.6M	+1.3M	+2.3%	—	59.9M	-0.3M
■ 欧州	9,275	22.7%	8,560	-714	-7.7%	21.7%	9,404	-844
(現地通貨/ €)	55.8M	—	50.9M	-4.9M	-8.9%	—	61.8M	-10.9M
■ アジア・オセアニア	7,279	17.8%	7,242	-37	-0.5%	18.4%	7,755	-513
■ その他	4,515	11.0%	4,318	-197	-4.4%	11.0%	4,621	-303
合計	40,942	100.0%	39,379	-1,563	-3.8%	100.0%	41,400	-2,020



要約貸借対照表（2025年9月30日現在）

(単位：百万円)		2025年 3月31日	2025年 9月30日	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	15,448	14,027	-1,421	-9.2%
	受取手形及び売掛金（※1）	14,838	13,373	-1,464	-9.9%
	たな卸資産	24,863	27,461	+2,598	+10.5%
	その他流動資産	2,453	2,351	-101	-4.2%
	流動資産合計	57,603	57,214	-389	-0.7%
	有形固定資産	13,650	14,664	+1,013	+7.4%
	無形固定資産	847	812	-35	-4.2%
	投資その他の資産	4,072	4,025	-47	-1.2%
	固定資産合計	18,570	19,501	+931	+5.0%
合計		76,174	76,716	+541	+0.7%
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金（※1）	8,847	8,499	-347	-3.9%
	短期借入金（※2）	16,557	17,080	+522	+3.2%
	その他流動負債	11,886	10,431	-1,454	-12.2%
	流動負債合計	37,291	36,011	-1,279	-3.4%
	長期借入金	3,972	3,209	-762	-19.2%
	その他固定負債	2,536	2,565	+28	+1.1%
	固定負債合計	6,508	5,774	-734	-11.3%
	負債合計	43,800	41,785	-2,014	-4.6%
	純資産合計	32,373	34,930	+2,556	+7.9%
合 計		76,174	76,716	+541	+0.7%

❖ 資産の部 541

- ・ 流動資産（-389）
→現金及び預金の減少等
- ・ 有形固定資産（+1,013）
- ・ 投資その他の資産（-47）

❖ 負債の部 -2,014

- ・ 流動負債（-1,279）
→電子記録債務の減少等
- ・ 固定負債（-734）
→長期借入金の減少等

❖ 純資産の部 +2,556

→利益剰余金の増加等

（※1）電子記録債権、電子記録債務を含む （※2）1年内返済予定の長期借入金を含む



営業キャッシュ・フローの状況

EBITDA ※	+4,590
運転資金増加	-1,126
税金、利払等	-1,742
合計	+1,720

投資キャッシュ・フローの状況

定期預金の収支	-291
固定資産の取得	-1,848
その他	+108
合計	-2,032

財務キャッシュ・フローの状況

短・長期借入金収支	-302
配当金支払	-1,008
その他	-258
合計	-1,569

※ 利払前、税払前、償却前の営業利益

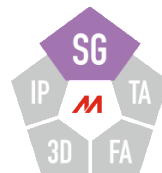
2026年3月期 連結業績

1. 第2四半期 上期実績

2. 通期予想

3. 事業の取り組み状況

4. APPENDIX



UJV300DTF-75

「UJV300DTF-75」で採用のUV-DTFとは、専用のフィルムにプリントしたデザインを対象の素材に転写する加飾方式です。従来のUVプリントでは難しかった、凹凸や曲面のある素材の表面にも、簡単に加飾ができる製品です。

連結業績予想ハイライト（2026年3月期）



2025年3月期				2026年3月期								
				下期 予想 (修正・差引)	売上高 比率	前年 同期比 増減額	通期 予想 (修正)	売上高 比率	前期比増減			前回 予想比 増減額
(単位：百万円)									金額	率	率(除為替)	
売上高	83,963	—		43,120	—	+99	82,500	—	-1,463	-1.7%	+1.3%	-6,100
営業利益	9,111	10.9%		4,509	10.5%	+96	8,500	10.3%	-611	-6.7%	+8.7%	-700
経常利益	8,441	10.1%		4,035	9.4%	-84	7,800	9.5%	-641	-7.6%	—	-600
当期純利益*	6,156	7.3%		2,746	6.4%	-158	5,500	6.7%	-656	-10.7%	—	-400
為替レート (期中平均)	米ドル	152.57円	—	144.00円	—	-8.53円	145.02円	—	-7.55円	-4.9%	—	+10.02円
	ユーロ	163.74円	—	152.00円	—	-9.55円	160.03円	—	-3.71円	-2.3%	—	+8.03円

*親会社株主に帰属する当期純利益

連結業績予想の前提

- 通期業績予想は、TAのDTFモデルの競争激化や下期に新製品の上市が、一部の製品開発の検証等に時間を要し、来期への期ずれ発生による、新製品開発の見通し等を踏まえた製品市場別及びエリア別の売上の見直しを実施。期初計画（5/13）より下方修正
- 売上高・・・グローバルでの市場環境は前期より大きな変化はなく堅調に推移すると見通すも、米国の関税政策の影響による各国の関税政策や金融政策の動向など不透明な要素は依然として多い。既存製品の営業戦略の転換など、販売の着実な拡大を目指す
- 営業利益・・・研究開発費や人件費等の将来の成長への積極的な投資は継続。その他の販管費は、売上高に応じた執行に努めつつ効果的な充当を推進売上原価の前提は期初計画から変更なし
- 3Q以降の為替レートの前提：USD:144円/EUR:152円（期初計画から変更）

営業利益増減要因 (25/3期 実績 vs 26/3期 予想)



■ 売上・原価・営業利益への為替影響

売上高 -2,537 - 売上原価 -541 - 販管費 -590 = 営業利益-1,406

【通貨別影響額】

USD／	152.57円	→	145.02円	-641
EUR／	163.74円	→	160.03円	-300
CNY／	21.10円	→	20.65円	+38
TRY／	4.48円	→	3.82円	-127
BRL／	27.26円	→	25.40円	-118
その他 (AUD、INR等)				-257
合計				-1,406

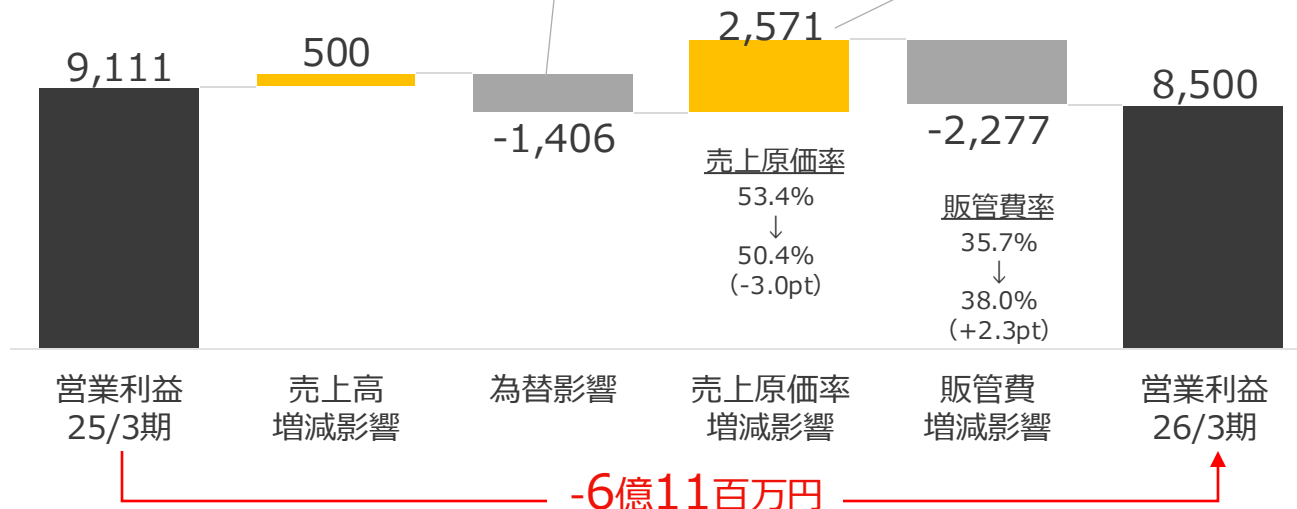
為替感応度 (1円/年)

	売上高	営業利益
USD	166	84
EUR	124	81

【売上原価率増減要因】

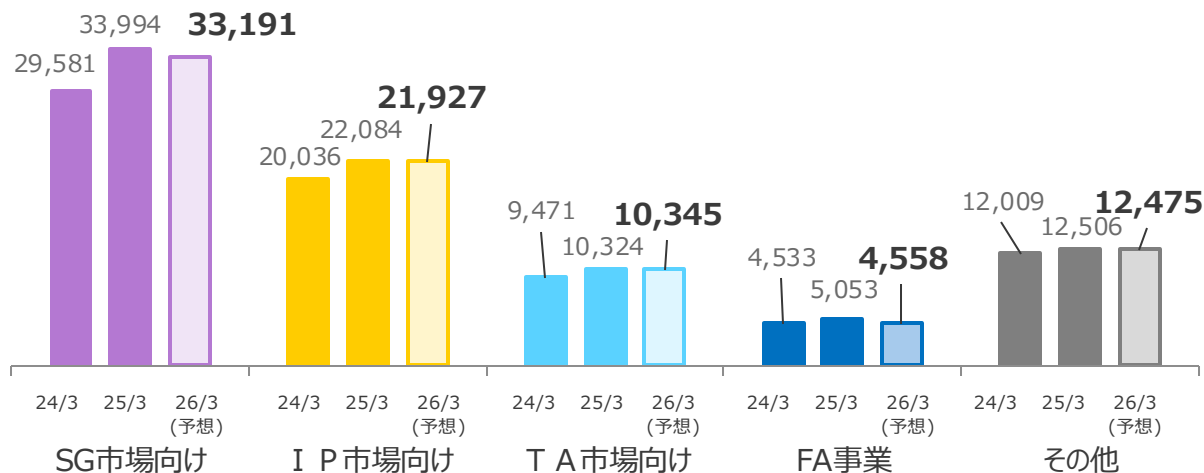
インクと本体モデルの切り替え等によるミックスの変化など、引き続き原価低減活動に取り組むことで原価改善を見込む

(単位：百万円)



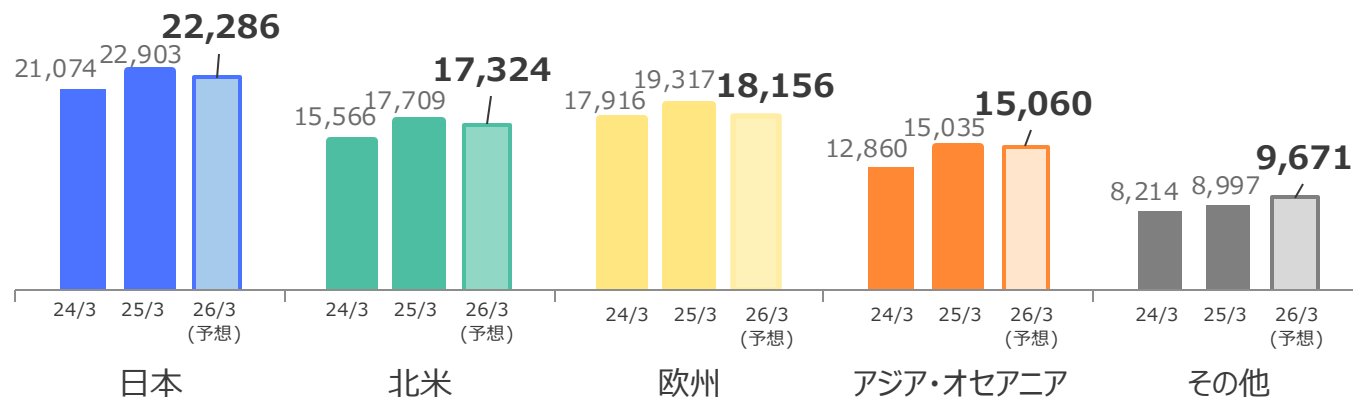
市場別売上高予想 (2026年3月期)

2025年3月期			2026年3月期							
(単位：百万円)	通期実績	構成比率	下期予想 (修正・差引)	前年同期比 増減額	通期予想 (修正)	金額	前期比増減 率	率(除為替)	構成比率	前回予想比 増減額
SG市場向け	33,994	40.5%	16,669	-1,046	33,191	-802	-2.4%	+3.4%	40.2%	-1,238
IP市場向け	22,084	26.3%	12,150	+666	21,927	-156	-0.7%	-0.4%	26.6%	-2,362
TA市場向け	10,324	12.3%	5,797	+802	10,345	+21	+0.2%	+3.9%	12.5%	-1,684
FA事業	5,053	6.0%	2,625	-284	4,558	-495	-9.8%	-17.1%	5.5%	-1,113
その他	12,506	14.9%	5,877	-38	12,475	-31	-0.2%	-	15.1%	+300
合 計	83,963	100.0%	43,120	+99	82,500	-1,463	-1.7%	+1.3%	100.0%	-6,100



エリア別売上高予想 (2026年3月期)

2025年3月期			2026年3月期						
(単位：百万円)	通期実績	構成比率	下期予想 (修正・差引)	前年同期比 増減額	通期予想 (修正)	前期比増減 金額	率	構成比率	前回予想比 増減額
■ 日本	22,903	27.3%	11,743	-175	22,286	-616	-2.7%	27.0%	-3,195
■ 北米	17,709	21.1%	8,609	-212	17,324	-385	-2.2%	21.0%	+174
(現地通貨/ \$)	116.3M	—	59.7M	+1.7M	119.4M	+3.0M	+2.7%	—	-7.6M
■ 欧州	19,317	23.0%	9,595	-445	18,156	-1,160	-6.0%	22.0%	-1,927
(現地通貨/ €)	118.0M	—	63.1M	+0.9M	114.0M	-4.0M	-3.4%	—	-18.0M
■ アジア・オセアニア	15,035	17.9%	7,818	+62	15,060	+25	+0.2%	18.3%	-1,151
■ その他	8,997	10.7%	5,352	+870	9,671	+673	+7.5%	11.7%	±0
合 計	83,963	100.0%	43,120	+99	82,500	-1,463	-1.7%	100.0%	-6,100

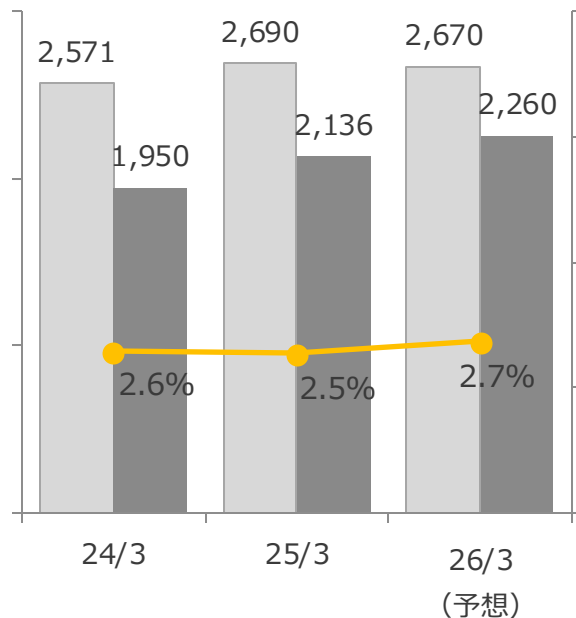


設備投資、減価償却、開発投資予想（2026年3月期）

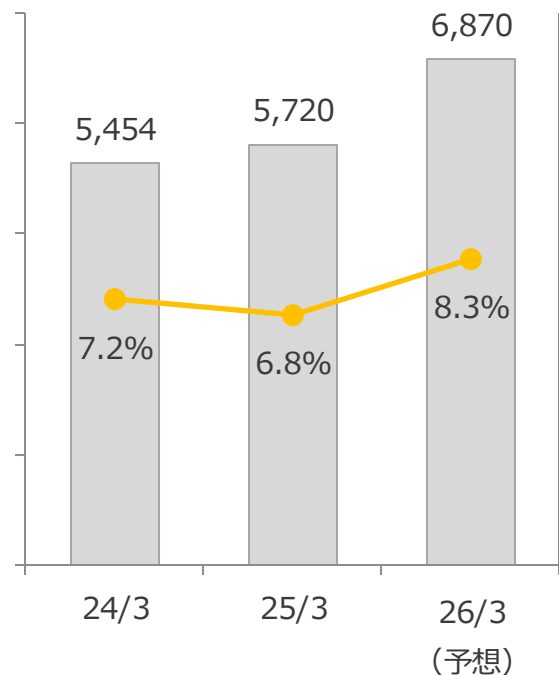


（単位：百万円）

■ 設備投資 ■ 減価償却費 ● 減価償却費対売上比率



■ 開発投資 ● 対売上比率



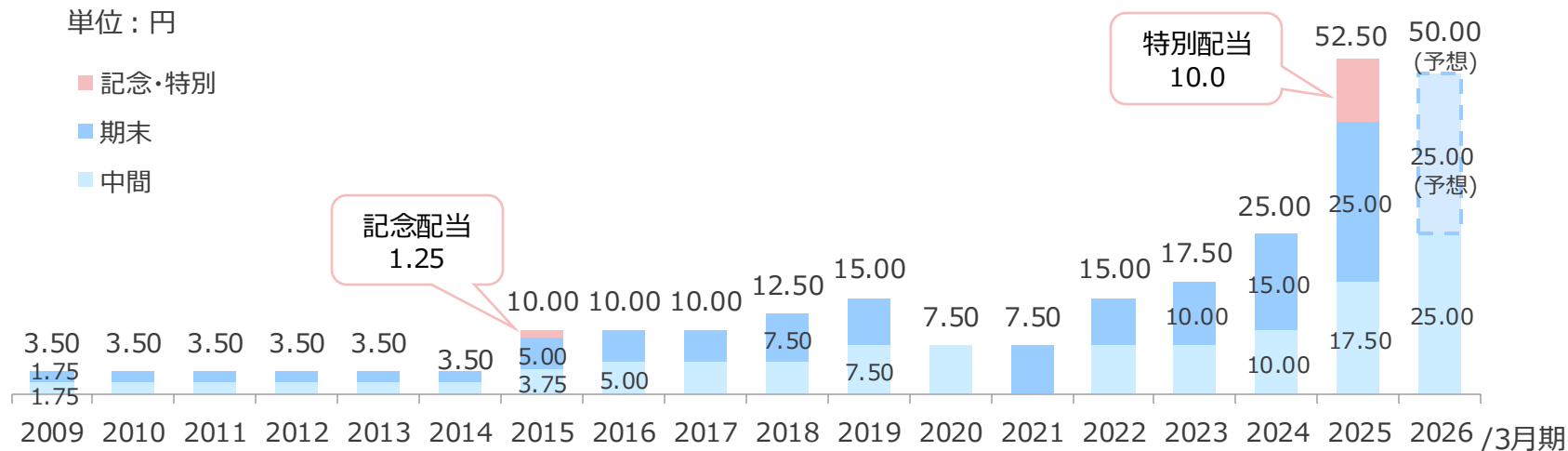
販管費における「研究開発費」
25/3 3,711百万円
26/3 4,762百万円（予想）

※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に
行っていくことを基本方針としています

- 2026年3月期 中間：25.0円、 期末（予想）：25.0円
今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、**年50.0円**の予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）

2026年3月期 連結業績

1. 第2四半期 上期実績

2. 通期予想

3. 事業の取り組み状況

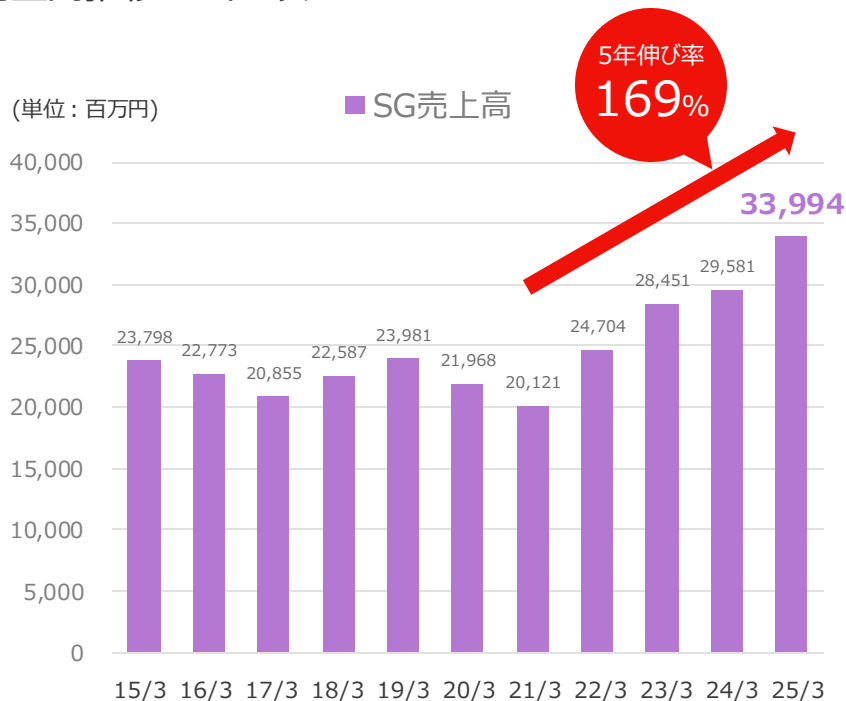
4. APPENDIX



3DUJ-2207

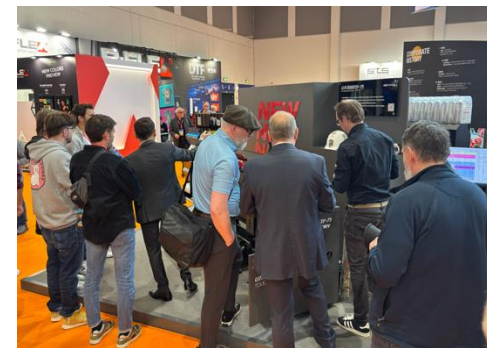
『3DUJ-2207』は、UV硬化インクジェット方式で1,000万色以上のフルカラー造形を実現する小型3Dプリンタで、一般的な石膏方式に比べて約2倍の高精細な色表現を可能とします。造形後の色付けでは難しかった豊かな色彩表現により、フィギュアやおもちゃのグッズデザインをはじめ、建築模型、家電製品など、工業デザインのわずかな色の違いにより印象を左右させる精密な試作品を求められる分野でご活用いただけます。

売上高推移 & トピック



FESPA 2025

スクリーン印刷、デジタル印刷、テキスタイル印刷、サイン、ビジュアル・コミュニケーションに関するヨーロッパ最大級の展示会。今年はドイツのベルリンで開催されました。



2025/05/06-09 @Berlin, Germany / 来場者数：約14,000人

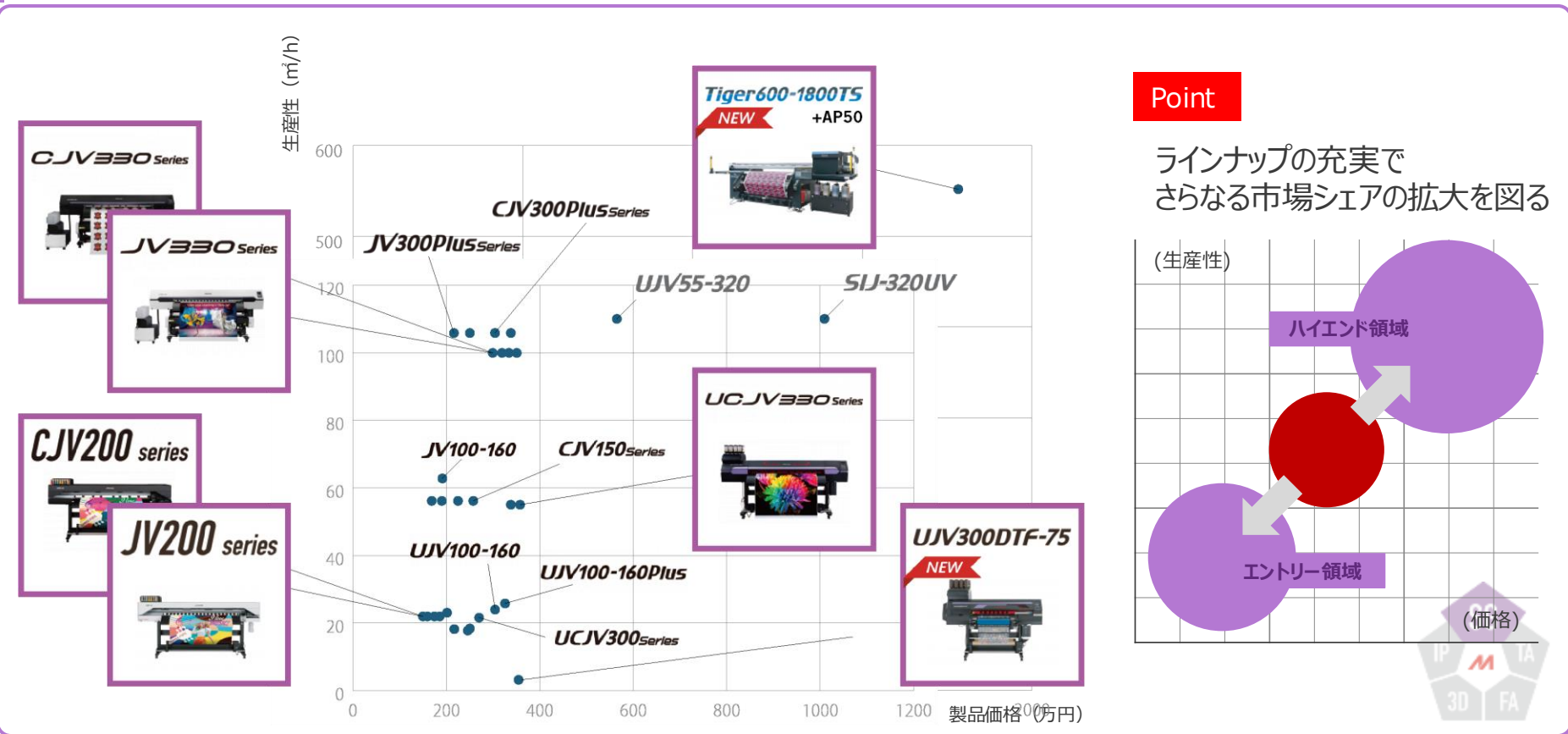
Printing United

米国のオーランドで開催される、北米最大級の印刷・アパレル装飾に関する総合展示会。最新の印刷技術、機器、アプリケーション、トレンドが紹介され、業界のプロフェッショナルが集まりました。

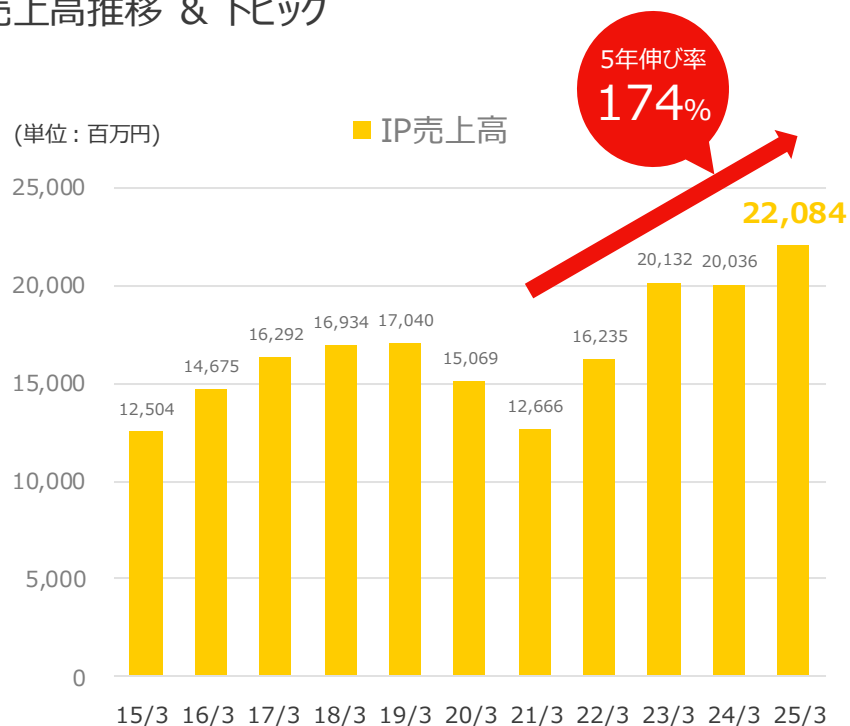


2025/10/22-24 @Orland, FL, US / 来場者数：約30,000人

製品ラインナップ



売上高推移 & トピック



JFX200-1213 EX

JFX200-1213 (UVプリンタ)

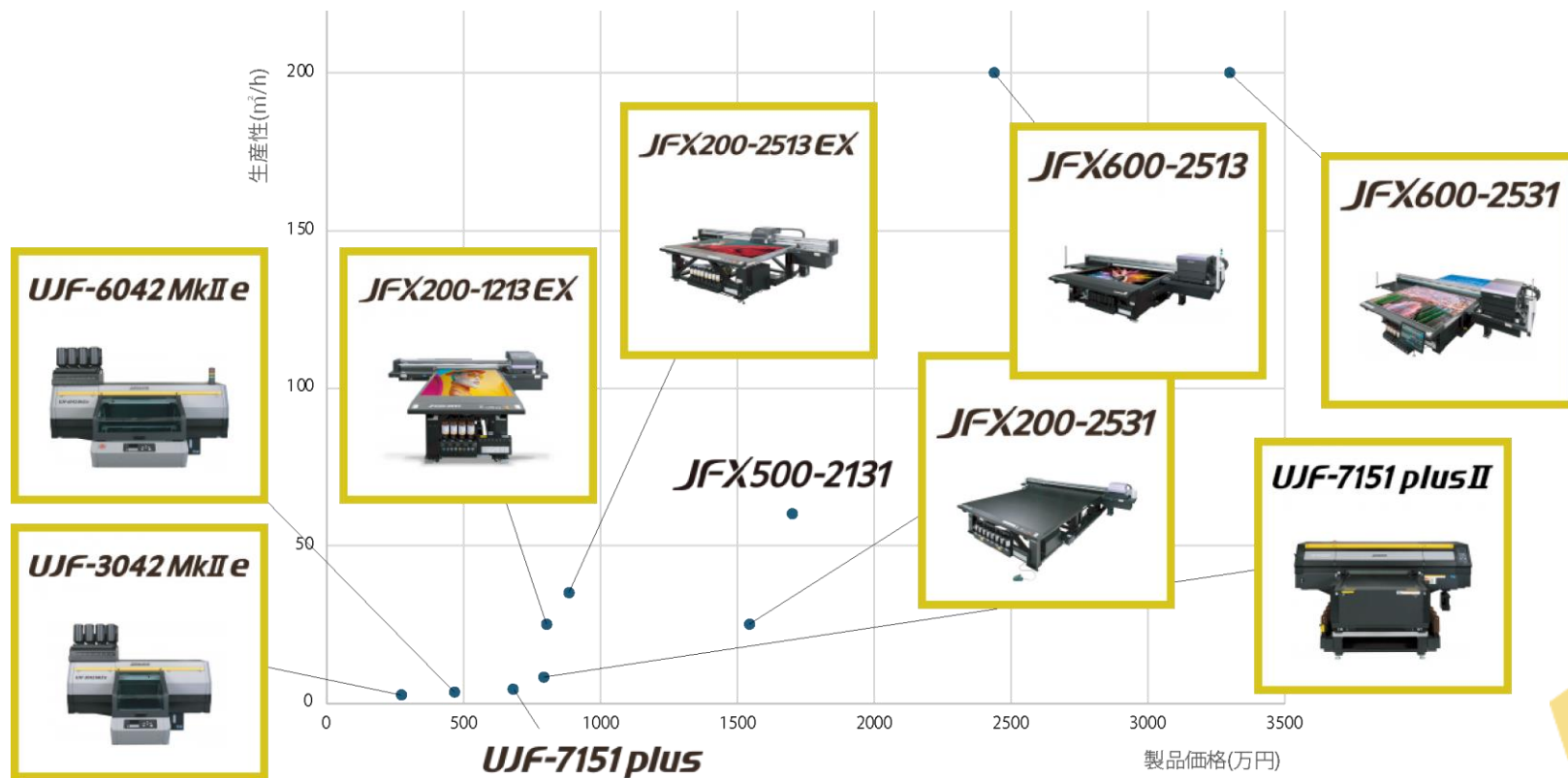
ミドルサイズのフラットベッドUVインクジェットプリンタ

高生産性で「美しさと速さ」を実現

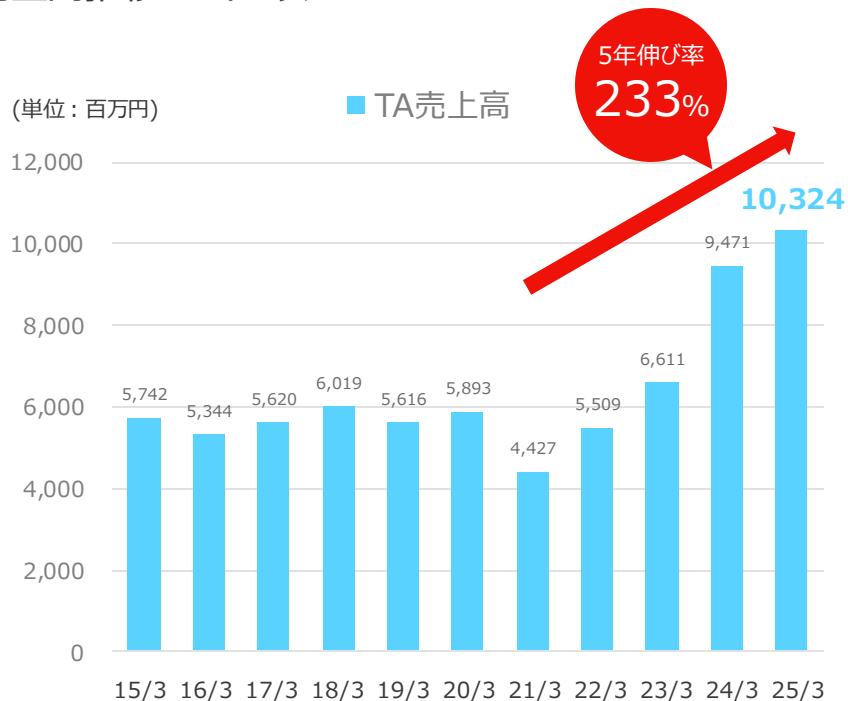
工業用・オーダーグッズのほか、サインボードなどの製作も可能



製品ラインナップ

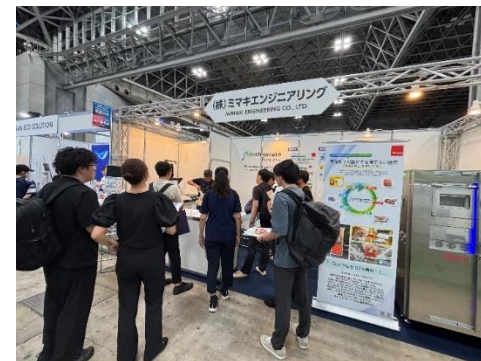


売上高推移 & トピック



「ネオクロマトプロセス」製品を初公開

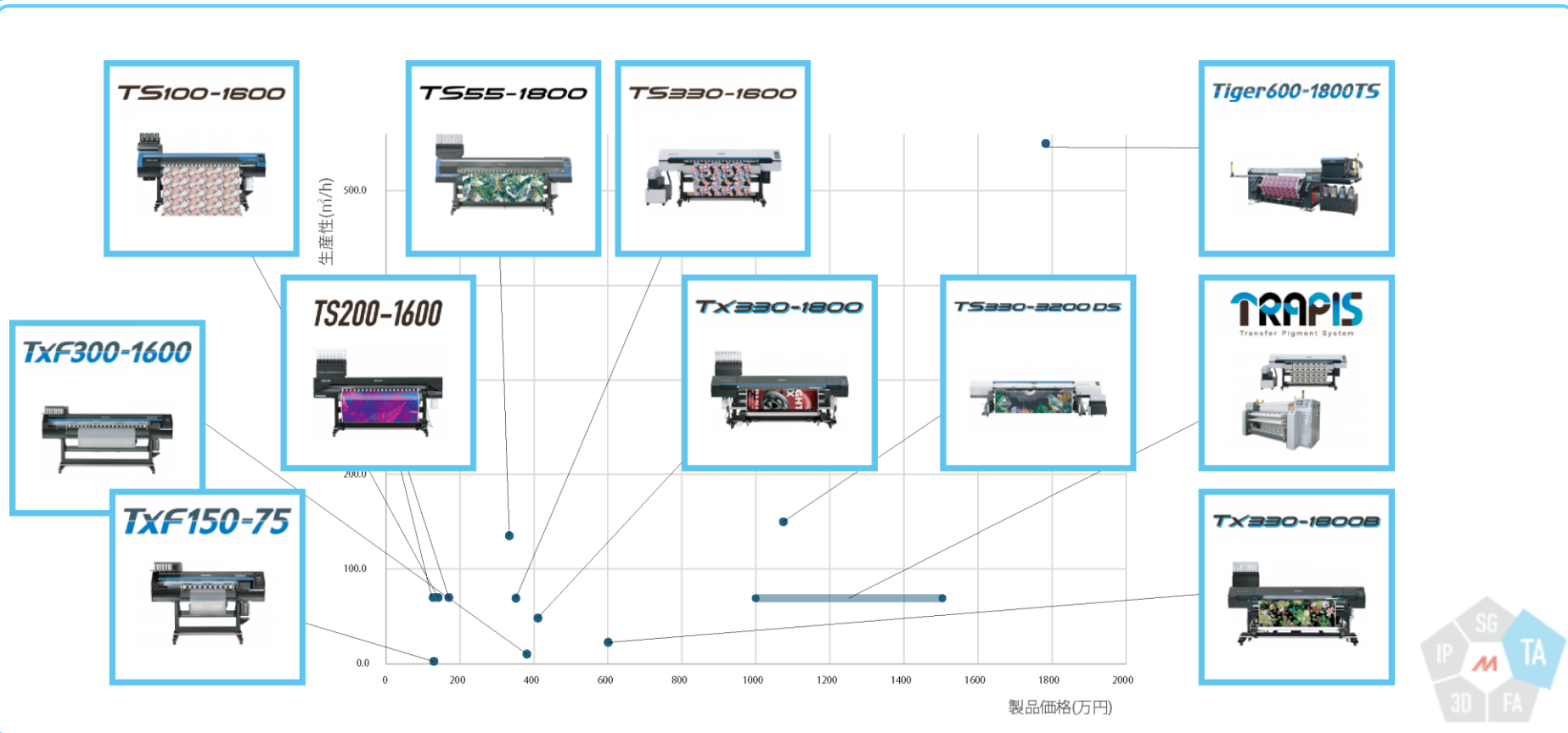
『サーキュラーエコノミー展 2025』にて脱色技術「ネオクロマトプロセス」を用いた自動脱色機を初出展&実演



2025/09/09-11 @幕張メッセ, 日本 / 来場者数：約40,000人



製品ラインナップ



代表的な産業用インクの種類と特長

溶剤：PVCアタック：前処理不要

ソルベントインク



ソルベント（有機溶剤）がPVC※の表面を侵食し揮発、顔料が食い込むことで高い屋外耐光性/耐候性/耐擦過性を実現するインク

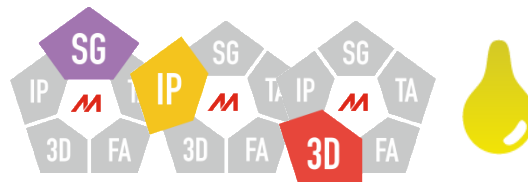
- 環境配慮型のインクで認証取得

対象素材：PVC※など



※PVC=ポリ塩化ビニール

UV硬化インク



UV光（紫外線）を照射させることにより、硬化・定着するインク

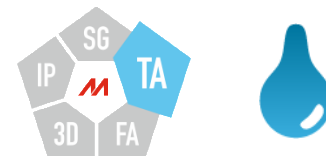
- 乾燥時間が不要！
- 様々な素材へ印刷！

対象素材：樹脂、ガラス、金属など



高温でガス化、ポリエステルに着色

水性昇華インク



ポリエステル素材へのプリントを飛躍的に美しくする高濃度インク

- 紙転写 / ダイレクト印刷に対応
- 蛍光色にも対応し発色が鮮やか

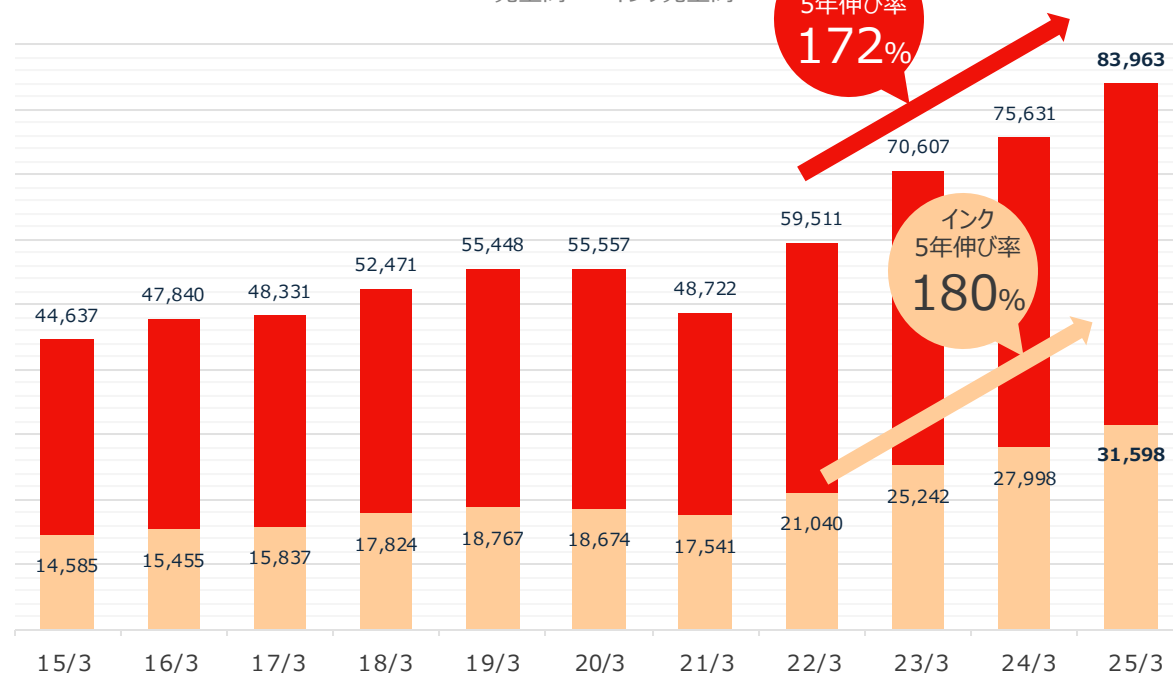
対象素材：ポリエステル



売上高とインク売上高の推移

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ インク売上高



[紙製インクカートリッジ]



- インクの5年伸び率は180%と急増
- 稼働台数の増加に伴い、インクの売上高も増加
- TAプリンタ販売数増加、特にTシャツ用途で使用する白インクが伸長



インク（ストック）ビジネスとしての側面と、インク生産量の増加によるボリュームディスカウント → 利益の増加に期待

プリンタとインク「3M™ MCS™ 保証プログラム」に認定



当社プリンタ330シリーズ（JV330、CJV330）とエコ溶剤インクSS21が、3M™社の「3M™ MCS™ 保証プログラム」に認定されました。このプログラムは、印刷されたグラフィックの性能を幅広く保証するものです。

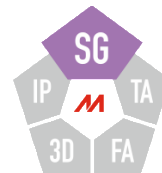
「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に新規選定



資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、「投資者にとって投資魅力の高い会社」が採用される「JPX日経中小型株指数」の2025年度構成銘柄として選定されました。

2026年3月期 連結業績

1. 第2四半期 上期実績
2. 通期予想
3. 事業の取り組み状況
4. APPENDIX



JV200-160 / -130

2024年秋の発売以来その圧倒的に美しい印刷品質とエントリクラストップレベルの生産性により、お客様から高い評価をいただいた「CJV200シリーズ」。CJV200の画質・生産性と手軽に高画質を得られる操作性をより多くのお客様に実感していただくために、プリント専用モデルとして「JV200-160/-130」がラインナップに追加されました。

経営ビジョン

1

独自技術を保有し、
自社ブランド製品を
世界に供給する
「**開発型企业**」を
目指します。

2

顧客に
満足いただける製品を
素早く提供する
小回りの利いた
会社を目指します。

3

市場に常に
「**新しさの違い**」を
提供する
イノベーターを
目指します。

4

各人が持っている
個性・能力を
力一杯発揮できる
企業風土を
目指します。



設 立	1975年8月	資 本 金	4,357百万円
本 社	長野県東御市滋野乙2182-3		
代 表 者	代表取締役社長 CEO 池田 和明		
株 主 数	5,403名 ※2025年3月末現在		
上 場 市 場	東京証券取引所 プライム市場 / 証券コード 6638		
発行済株式総数	32,040,000株 （単元株＝100株） ※2025年3月末現在		

持続可能な社会への貢献を、さらに効果的・効率的に推進すべくサステナビリティ方針とマテリアリティ※を特定

当社グループのサステナビリティ方針

※重要課題

1. 産業印刷のデジタル・オンデマンド化を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する
2. 安心して成長・挑戦できる職場環境を提供し、地域社会の維持・発展に尽力する

マテリアリティ	関連するSDGs番号
既存・新規事業を通じた産業印刷のデジタル化 インクジェット×デジタル・オンデマンド印刷で、 サステナブルなものづくり	      
イノベーションを通じたサステナビリティへの貢献 技術力で社会課題にソリューションを	
グループ人財の活躍と地域社会の活性化 挑戦を貴び、安心して働ける職場作り 地域とともに歩み続ける地元企業として	      
責任あるサプライチェーンの実現 環境リスク等の予防・低減、製品の安定供給へ	     
企業成長に応じたガバナンスの徹底 テクノロジーや教育を活用し、経営管理体制・内部統制を強化	



INN VATION 30

安定的な収益性で売上高成長の追求を継続し、資源の積極的な活用により
新たな領域にチャレンジすることで、

2030年3月期に売上高 **1,500億円** を目指す



詳細はウェブサイト
(5月16日公表)
をご参照ください。

<https://ir.mimaki.com/about/mi30.html>



チャレンジ1

高粘度領域

粘度の低いインクから
粘度の高い塗料の分野へ



チャレンジ2

フレキシブル有機ELシート

インクジェット生産による
低コストな有機EL



※この画像は生成AIによって
作成されたイメージです

チャレンジ3

セカンドブランド

印刷の前後装置を提供し
顧客の“安心”を創出

チャレンジ4

3D事業の進化

様々な素材の3D印刷
実現で大きく広がる市場



3DUJ-553

様々な素材



Made in JAPAN
Made by Mimaki

※MI30：Mimaki Innovation 30



本資料に関するお問合せ先

株式会社 ミマキエンジニアリング

I R 部

<https://ir.mimaki.com/>



〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。